

陸上自衛隊個人携行救急品の機能評価と改善案 (2018年現在は国内用、国外用の区別なく追加品も含めた全ての内容品が支給されている)

区分	連番	品名	必要性	用途	参考価格 (税込、円)	評価	解説	改善案	その他の使用法 補足事項等
平素の装備 (国内用)	1	救急品袋	救急品をコンパクトに収納・携行でき、かつ必要事(筆者注:時)速やかに使用することが出来るようにするため	救急品の携行	4,314	×	1、救急品の全てを収納するため、IEDの爆発などで一度に全ての救急品を失うおそれがある 2、必要な品目、数量の救急品を収納できる容積を有していない	1、止血帯を2本とも取り出し、それぞれを止血帯収納ポーチに入れて左右に分散させて携行する 2、携行袋は脚には着けず、攻撃を受ける方向から防弾ベストの陰になる位置に装着する 例:車両操縦の場合は左側の腰の位置、IED爆発時に左手が残る可能性がある	止血帯を除く救急品は胴巻のようなものに収納して防弾ベストの内側に携行すると救急品の防護効果が最大となる。(ドイツ軍や英軍の携行法)
	2	止血帯	四肢からの大量出血に対して、速やかに緊縛止血を行うため	四肢の緊縛止血	3,186	×	1、C-A-T-G6は使用法に習熟するまでに70回以上の訓練を必要とする。陸自仕様のG6は末端が識別しにくい。暗い環境では素早く緊縛止血を行えない 2、C-A-T-G7は「殺人止血帯」と言われるほど緊縛止血後に容易に外れるため、教育所要が更に必要となる	止血帯を2本ともSAMターニケットに交換する。紫外線に強く、適正緊縛圧で自動的にロックする機能を備えるため緊縛止血時に間違えるおそれが極めて少ない。また、教育所要がC-A-T-G7の30分の1と少ない	ヘルメットの偽装固定用バンドをゴム式止血帯RATS1に変更すれば小児の緊縛止血も行えるようになる
	3	救急包帯	四肢等からの出血に対して、速やかに圧迫止血を行うとともに創傷部位を保護するため	四肢等出血部位の圧迫止血及び創傷保護	993	○	現行の4インチエマーゼンシーバテージでは圧迫止血能力、被覆面積が不足する	4m程度の滅菌ガーゼ包帯と対して携行し、エマーゼンシーバテージの能力不足を補完する(ドイツ軍では20mもの滅菌ガーゼを携行する)	OLAES Modular Bandageに交換すれば、3mの滅菌ガーゼ、プレッシャーキャップ(眼球保護具としても使用可能)を含むため、ガーゼと眼球う保護具の不足を補完できる
国際活動等の装備 (国外用)	4	チェストシール	銃創等により、胸壁に穴が開いた状態(開放性気胸)に対する応急処置(筆者注:救急処置)を行うため	胸部開放創の閉塞	3,899	×	SAM Chest Seal with Valveはキャップの外し忘れによる緊張性気胸移行のおそれがあり「殺人チェストシール」と呼ばれ製造元のSAM Medicalでも販売していない欠陥品である	SAM Chest Seal Valved 2.0に交換し、キャップの外し忘れによる過失を予防する	SAM Chest Seal Valved 2.0はSAM Chest Seal with Valveの包装容積の厚さが半分であるため、救急品袋の収納力が増大する
	5	止血ガーゼ	四肢以外からの出血に対して、速やかに止血を行うため	四肢以外の出血部位の止血	2,770	×	原文の説明書に「出血を制御する処置の代替となるものではない」と記述されているほど、止血効果が不足している。他国軍隊が携行する包帯状止血剤の28分の1の面積しかなく、止血を行うには量が極端に不足している	現行のわずか10cm四方の止血ガーゼではなく、止血効果のある包帯状止血剤を、標準的な大きさである幅7.5cm長さ3.7mの量を携行する	Xstatのような注入式粒状止血剤を用いれば包帯状止血剤では止血が困難な骨盤部の銃創まで止血可能になる
	6	人工呼吸用シート	口対口の人工呼吸を行う際の、感染防止を図るため	人工呼吸時の感染防止	154	○	戦闘中に行う心肺脳蘇生の基準が示されていない。実施の際、多数の人員を必要とする心肺脳蘇生は戦闘力の減少をもたらすため、他国軍隊では戦闘中に、作戦遂行を優先させるか、救命を行うかについて条件が設定されている。		
	7	手袋	血液等の体液から感染防止を図るため	救急処置時の感染予防	73	×	本来アメリカの警察が粉状の薬物を調べるために黒色にした手袋であり、血液の付着が判らないため、感染予防には全く役に立たない	1、血液付着の視認が容易な明るい色の手袋に交換する 2、米軍は明るい灰色の手袋を使用 3、消費が激しいため、2双以上を携行	米軍を始め他国軍隊では救急品として通常の医療用手袋を採用しており黒色などの暗い色の手袋は使用禁止である
	8	はさみ	処置を行うために創傷部位を露出させるため、被服等を裁断する	被服等の裁断	934	○	分解可能で清潔に保つことが容易 シートベルトの裁断も素早く行える	傷口に刃先を突き入れるおそれの無い、引いて切る方式の安全カッターの追加が望ましい	マグネシウム合金と火打鉄との組み合わせにより、3000°Cの熱と光を発生させ火を起こすことができる
追加品	9	止血帯(2本目)	2 止血帯と同じ			×	2 止血帯と同じ		
	10	眼球保護具	眼球に対する外力からの保護と眼球的安静を保つ※	眼球的保護	130 (推定)	×	1、1個のみのため、眼球的安静を保つことができない 2、樹脂製であるため、穿通性異物の固定ができない	米軍が装備しているような加工が容易なアルミニウム製のアイシールド2枚に交換し、それぞれを患側、健側に用いる。健側用にはテープを貼り、中央に孔を開けてピンホールとしておく。健側のアイシールドにより視力を維持したまま両側の眼球的動きが抑制されることで、安静が保たれる	アルミニウム製アイシールドは変形させることにより、圧迫止血効果を高める沈子(ちんし)として使用できる

# 更に追加することが望ましい内容品

連番	品名	必要性	用途	参考価格 (税込、円)	解説	その他の使用法 補足事項等
1	ダクトテープ	固定力の強化 創傷部の閉塞 記録 水疱の救急処置	固定力の強化 創傷の閉塞 記録	432	CATG7の不意の緊縛止血解除の防止、小さな穿通性外傷の一時的な閉塞、止血時間やバイタルサインを記述して傷病者の身体に貼り付けて申し送る、長距離徒步行進時に足にできた水疱の保護など幅広く使うことができる	アウトドア用品である小さく巻かれたダクトテープと同じ
2	経鼻エアウェイ	人の手を必要としない気道確保	気道確保の強化	1,080	第一線の隊員でも軽易に使える気道確保用の器具として使われている	米軍で採用されているものであれば必要最小限の長さであるため携行しやすい
3	油性ペン	止血帯や記録カード、ダクトテープに時刻や行った処置などを記録する	記録	153	MEDICが応急処置に専念できるよう、記録は一般兵士が行うことが海外の軍隊では常識となっている	銃創にガーゼや包帯状止血剤を押し込む際に利用する
4	記録カード	傷病者のバイタルサイン、行った救急処置、応急処置の記録	記録	2,160	誰でも軽易に素早く記録できるように工夫された紙面が海外の軍隊で用いられている	治療・後送の優先順位を判定するトリアージタグとしても使用できることが望ましい